

とっとり出島イノベーションプロジェクト（TDX） 2019年12月～2024年2月実施予定 （（公財）鳥取県産業振興機構）

【課題】

中小企業が大手企業と共同して製品開発する機会は、その大手企業との系列関係等がなければ実現困難。

【目的】

Society5.0「創造社会」の実現に向けた経団連の提言を受け、本社等から独立し、物理的に距離を置いた異質な空間「とっとり出島」を当財団内に共創し、大手企業等が新たに試作開発する段階を活用し、大企業と県内中小企業が新製品開発段階で試作共創の場・環境とする。

世界的なエネルギーシフトの進行を受け、県内企業（鳥取県内に工場等を有する大手企業）が参入を目指すADAS・EV分野に進出するため、試作段階で複数の県内中小企業と連携して製品化を行う。

- 1 ニーズに合った製品コンセプトの決定
- 2 鳥取新都市における実証実験の実施及び評価
- 3 エネルギーシフトを実装するエコシステム（街区づくり）の検討
- 4 国際的なイノベーションデザイナーの育成

【都道府県の施策との連携・親和性】

2018年に鳥取県と吉林省との間で締結された覚書「鳥取・吉林ADAS・EVプロジェクト」に基づき策定された鳥取県の地域再生計画「鳥取県におけるADAS・EV関連産業の集積」の推進に寄与。

【事業の内容】

【「とっとり出島」の共創】

- ・TDX推進協議会の設立(県内企業21社)

ADAS・EV領域
6社

部品装飾領域
10社

街区実装領域
5社

- ・吉林大学自動車工程学院との連携

【試作開発・実証実験・社会実装】

製品コンセプトの決定

- ・街区に適合する超小型eモビリティの選定・取得
- ・各種搭載機能の検討

ADAS・EV搭載車両の試作開発

- ・超小型eモビリティへのADAS基本機能の搭載

鳥取新都市における実証実験

- ・走行試験、機能検証
- ・専門家による技術指導
- ・人事交流

社会実装の検討

- ・高齢化・交通インフラ不足等に適応するまちづくりの提案
- ・将来型eモビリティの新たな産業の創造によるビジネスチャンスの拡大

【人材育成】

人材育成セミナーの開催

- ・超小型eモビリティ・自動運転に係る最新活用事例、サプライチェーン構築等に係る情報提供

S I D 育成スクールの創設

- ・自社で新しい価値創造に向けた企業変革を担う「事業創造人材」と、企業変革のための社会実験やシステムを地域でデザインする「価値創出応援隊」を育成するソーシャルイノベーションデザイナー（S I D）育成スクールの創設に向けてプログラムを検討。

【成果目標】

- 吉林大学自動車工程学院と連携し、社会実装する地域の個別具体的なニーズに適したシンプルで安価なADAS機能を提供できる技術を習得すること。
- 地方都市における高齢化に対応した超小型eモビリティを活用し、パーソナルな移動手段のシステムを構築すること。
- 超小型eモビリティの新たな産業を創造しビジネスチャンスを拡大すること。また、この過程で国内外大学との連携、人事交流し、新たなビジネス展開ができる国際的なイノベーションデザイナーを育成すること。

【波及効果】

- ADAS・EV分野の新製品開発手法を習得することができるため、QCD向上、受注元への提案が可能となるのみならず、自社製品開発の基礎知識を習得し、下請け体質からの脱却が可能となる。
- 技術交流、人脈の拡大を通じ中小企業の人材育成を実現できる。

↓
県内産業の振興が図られ大きな経済効果をもたらす。

【将来の支援目標】

試作共創の手法を他分野の製品開発（ファブレスモデルを含む）支援に活用し、事業誘致に繋げる。

※鳥取新都市【鳥取市若葉台地区(面積約250ha：人口4,492人、1,676世帯(R3.5.31時点))】企業、公共施設、大学、住宅地（ボンエルフ道路）等からなる、「産」「学」「住」の調和のとれた「緑と人、健康で潤いのあるまち」。昭和60年開発開始。平成元年まち開き。